

流した涙は幸せとして戻す ～そこに仲間がいるから～

高校生の力を発揮して、自らの向上に努めながら子どもたちの活動を支援する。子どもたちがあこがれ身近なモデルとなっているジュニアリーダースクラブの取組関わっている人<小学生、中学生、高校生、青年、成人>



☆活動名 自ら進んで行動する“都賀町ジュニアリーダースクラブ”

【活動の趣旨】 若い力を十分に発揮して、都賀町子ども会育成会連絡協議会（以下、都賀町子連とする）や単位子ども会の行事をサポートする。町子連子ども会リーダー研修会やレクリエーション大会、カルタ大会などで活躍し、自らの向上にも努めている。

【連携】 町子連の下部組織としての位置づけ 単位子ども会との連携を密にしている

【対象・人数、条件】 高校生20名 高校生であれば町内外を問わず受け入れている

【始めるきっかけ】 昭和63年4月より活動開始。現在17年目となる。子ども会での指導者として結成され、子どもたちの直接的な指導をし、子ども会活動の活性化に努めている。

【広報のしかた】 卒業間近の中学3年生全員にチラシを配布し説明会を実施。中学校に依頼して、卒業式予行の後に時間をいただき、ジュニアリーダー自身が説明をしている。子ども会リーダー研修会に参加経験のある中学生は、ジュニアリーダーにあこがれている人も多く、説明会前から入会したいとの声がある。

【活動内容】 ①都賀町子連主催「子ども会リーダー研修会」の指導

小学5年生～中学2年生を対象として3日間泊まり込みで行われる「子ども会リーダー研修会」において、1班につき1、2名のジュニアリーダーが担当となり、密着して指導に当たる。子どもたちとの接し方や指導方法などの事前打ち合わせはあるが、実際の研修会の進行や薪を使っての食事づくり、キャンプファイヤーの内容などはすべてジュニアリーダーに任されている。子どもたちの就寝後に毎晩反省会を行い、明日からの活動に向けて話し合う。大人の指導者は口出しをせず、まずはジュニアリーダー自身の“気づき”を大切に、のびのびと活動できるような環境を整えている。2泊3日の研修は3回、合計9日間実施されるが、ジュニアリーダーは常時7～8名が活動している。最も成長するのはジュニアリーダーたちといえるかもしれない。

②単位子ども会の活動支援

町子連として最も力を入れているのが、地区単位の子ども会活動の活性化である。ジュニアリーダーたちは単位子ども会からの派遣依頼に対し、積極的に支援をしている。キャンプやクリスマス会でのレクリエーションやキャンプファイヤーなどを支援し、子ども会の活動を大いに盛り上げている。

【成果と課題】 都賀町においてジュニアリーダーズクラブに入ってくるそのほとんどが「子ども会リーダー研修会」の参加経験者である。小学生はただ楽しくて参加しているが、中学生は研修会の内容よりもジュニアリーダーとしての活動に興味を持ち始める。ジュニアリーダーが中学生のあこがれや目標となり、「ああいう高校生になりたい」と思わせる身近なモデルとなっている。ジュニアリーダーだからこそ知り得る楽しみを増やし、より魅力的な活動をめざしていく。現在、映画製作などを構想中である。

卒業後は「ハートスタッフ」(シニアリーダー)へと移行し、町の事業に参画する。

☆これから始める人へのメッセージ

子ども好き 集まれ！

都賀町ジュニアリーダーズクラブ

代表者 大出 詩織 (高校生)
早乙女 二郎 (都賀町子連指導部長)

所在地 〒328-0103
都賀町大字原宿 519 都賀町中央公民館内

電話/FAX 0282-27-5050/0282-27-5152

E-mail syakaikyoiku@town.tsuga.tochigi.jp (都賀町教育委員会事務局)

